

# 令和6年度千鷲会定期総会と懇親会

# 4 就鳥くま だより



## 懇親会の会場で先ず定期総会

令和6年度千鷲会定期総会と懇親会が千歳市のベルクラシック・リアンで6月28日に、先ず総会が18時より34名の会員が参加して行われた。

最初に会長が挨拶で、今回の総会と懇親会の案内が遅れた事に触れて、現在『千鷲会だより』等の配布手段である『ゆうメール』には信書に該当する物の同封が出来ない事を述べ、更に懇親会等の申込みでQRコードを利用している申込みが増える事への期待を述べた。

その後、事務局からは、『ちとせのまちの航空祭』等への支援協力、退会者が入会者を上回り前年より39名の減となったこと、15年連続した千歳市奨学基金への寄付金の合計

が71万円になった、年会費納入を口座振り込みとしてから納入率が低下している等の事が報告された。

参加者からは『千歳市空港開港100年』に対しては管制隊、飛勤隊、北空施設隊の功労があつての結果だと、現役隊員に代わって千鷲会が千歳市に申し出をすべきだの意見と、QRコードからの申込み時に「申込みが完了しました」のサインが出れば良いとの希望があつた。



懇親会の会場で先ず定期総会を行う

### 功労者を表彰

今般、広域及び地区幹事の廃止に伴って、長年にわたって担当地区の世話役的な役目を果たして頂いた25名の方々と、役員を務められた3名の方々の功績を称え、御苦労に感謝するため、総会の最後に佐藤千鷲会会長が、総会に出席された6名の方々へ、感謝の言

葉を添えて、表彰状を手渡した。

残念ながら当日総会へ出席できなかった22名の方々には、後日郵送された。

**令和6年度被表彰者**

〔広域地区幹事等の活動25名〕  
佐藤節三会員・上田正勝会員  
佐々木真司会員・荒寿男会員  
山本茂会員・曾根靖秋会員  
坪川勝比古会員・坂井明会員  
錦織聡明会員・寺井邦彦会員  
北向洋行会員・内山雅夫会員  
立石登会員・福本正光会員  
原田登会員・一ノ瀬昌俊会員  
野田隆宏会員・谷田秀明会員  
佐々木正光会員・野月洋会員  
熊原清二会員・曾我利明会員  
渡辺孝典会員・平見博司会員  
天坂之仁会員

〔監査及び広報理事の活動3名〕  
本郷武男会員・鶴友助会員  
島本豊会員



## 開始が遅れた懇親会



定期総会が10分程度長引いたため、定期総会が終わると通路で待つて居た、懇親会参加者達が入場して来て、席を探す人や、懐かしい人と立ち話を始める人等で、会場が一挙に賑やかになった。

懇親会開始を伝えようとしている松倉事業部長がタイミングを計りかねて居たが、ようやく総勢80名(正会員44名・賛助会員7名・現役隊員29名)での懇親会が予定の時刻よりかなり遅れて始まった。

若干ザワメキが残る中、佐藤会長が挨拶を始めた。その内容は定期総会での内容と類似して、定期総会と二度も『信書』と『ゆうメール』そしてQRコードについて言及した。

これは会員数の減少と年会費納入率が低下している現状から、『ゆうメール』そしてQRコードでの懇親会等の申込み手段としての利用の促進の重要性を感じ、千鷲会の切実な現状を示している。

続いて2空団司令が挨拶の中で、7月19日(金)から20日(土)まで日本・ドイツ・スペイン共同訓練。22日(月)から

25日(木)まで日独共同訓練が実施されること。掩体地区の整備と、内務班にエアコンを設置すると発表した。此のエアコンは、隊舎の新築計画がある為、廊下に設置して隊舎を冷やすのが目的だと懇談中に現役隊員が教えてくれた。

懇親会半ばでは、売店会から提供された景品の争奪ジャンケン大会と、新入会員の元気の良いユニークな自己紹介が行われた。

懇親会で最後に行われる恒例の集合写真撮影では、朝倉相談役が遠慮する被表彰者達を最前列の椅子へ着席させると、何時も同じ様に撮影者といをし乍ら撮影を終えて、明るく懇親会が終わった。



# 千鷲会の空港開港100年への姿勢

総会で「千歳市は、空港開港100年記念事業を計画している。」

この事業に、千鷲会は市民団体として、千歳基地とは別に主体的に関与することが必要ではないか」との意見がありました。

このため、事業の概要を確認し、千鷲会としての事業への取組み方について検討し、次の要領で対応したいと考えています。

## 委員資格取得を目指す

千歳基地は空港開港100年記念事業の実行委員会の委員となっており、千鷲会としても委員資格を得て、本事業に積極的に千歳市に貢献する旨の申し入れを行います。

## 委員資格取得が拒否された場合

仮に申し入れが拒否された場合は、改善の策として、千歳基地委員を通じて千鷲会が本事業に協力する強い思いがあることを実行委員会等へ伝えてもらい、要請があればそれに積極的に対応します。

## 今後の懇親会等の御案内と会費納入方法

### 懇親会等の御案内方法

定期総会と懇親会の御案内は、郵便法で定める信書に該当しない『千鷲会だより』に、定期総会及び懇親会の概略とQRコードを掲載し、信書にならない文面の添え状と返信用葉書を同封して御案内します。経費的にはQRコードのご利用を御願いたします。

### 会費納入について

年会費納入は、口座番号等が記

## 会員の経験や逸話を募る

100年の歴史の中で航空自衛隊が千歳飛行場を維持管理運用していた31年間において、現役では語れない経験や逸話等をお持ちの会員には、是非ともまずは話題の件名等を事務局等にお知らせいただき、爾後実行委員会等の依頼に基づき内容等の提供を要請致します。

## 貴重な経験を市民の皆さんに紹介

特に、航空管制、民間機の滑走路使用記録等の作成業務、気象、飛行場灯火の維持



旧ベースオパレーション前の日航機

佐藤敬博 (千鷲会会長)

## 信書って何?

### 信書って何?

ある人や団体から、他の人や団体へ、意思などを伝える文書が信書です。

記入済み振込用紙及び返信用葉書も信書に該当します。(広報部)

# 此処はカムイミンタラ(神々の遊ぶ庭)なり

私は2022年5月19日に、当時16歳を超えた話し相手の愛犬ハルと一緒にカメラを携え、神々の遊ぶ庭(カムイミンタラ)の片隅の、百年記念の森へ、揚羽蝶が舞上るのを撮るため、其処へ通じる向陽台病院裏の坂を、ハルより一足先に切り切り、一生懸命に上って来るハルと向かい合わせに屈んで、声無きエールを送った。「頑張れ」。すると、急にハルが足を止めて唸らずに牙を剥いた。そんなハルに驚いた時、俄かに変わった風向きが、微かな獣臭を運んだ。

「もしかして、でも、遠い」。少し嫌な予感と共に振り返ると、一瞬ドキッとした。その距離は予想よりも遙かに近く、私の背後10m程の所を、ノソソソノソソと、体長2m程の綺麗な茶褐色の熊が、私に気付かずには沢の方へ向かっていった。その綺麗な体毛と薄い獣臭で、母熊と別れて間もない若熊だと解った。だが、母熊の気配に注意して、ハルの傍まで静かに後退りして、緊張している彼を抱きかかえ、静かに身を低くして坂を下りた。安全圏内と思われる、向陽台病院の通用口に到着した。それと同時に鼓動がドラムの様に響いたが、直ぐにスマホを取り出して110番した。



堵感からなのか、喋ろうとする言葉が日本語に成らない。そこで、『只今、熊と遭遇、体長2m程、場所は千歳百年記念の森・・・』と、出来るだけ簡潔に通報をした。その直後に千歳警察署から、詳細確認のため、警邏中のパトカーを向かわせるとの電話が入り、落ち合った警官達に、現地で状況説明をして居ると、1人の警官はトランシーバのマイク・スイッチを押したままで居た。私は、その警官とマイクに「経験の浅い熊だと思え。駆除以外の手段も試みて下さい」と言った。

警官達と別れてから10分程経過すると、沢の方でホイッスルが数回鳴り響き、僅かな間隔で爆竹が爆ぜた。私が「山へ戻れ」と願うと、沢の方からハンターの怒鳴り声が出た。「帰れ、来るな、山に帰れ」。だが、少し間を置いて、2発の銃声が鳴り響いた。

彼が山菜採りをしていると、体が揺さぶられて痺れる程の重低音の唸り声が出た。それで目を上げると、熊が威嚇していたと言いつつ、「これで人生が終わったと思った。動物園等で飼育されている熊とは全然次元が違う唸り声だった」と言い、虫除けスプレーの使い過ぎを反省し乍ら更に語った。

「近くに風力発電が15基も出来てから、低周波音を嫌って熊が居なくなったよ。食べ物も冷住む所も無くなった熊は里へ行く」と、意味ありげな笑い方をして、「SDGsは熊には迷惑な事で、結局は人間に回り回って来る」とも言い、自然と上手に共生していた、北海道先住民達の話題になった。彼達は、人を襲った熊をウェンカムイ(悪い神)、人を襲った事がない熊をキムンカムイ(山の神)と呼ぶが、何れにしろカムイである。北海道はカムイミンタラであり、神の使いである熊達は、カムイミンタラで一番強い動物で、此処は彼達のテリトリーである事を決して忘れてはならない。(文渥美伸悦・挿絵 菅原義典)

それから15分程後に、蝶を撮影しようとして蝶を待つて居ると、駆除の報告のため、先程の警官達が来て、スマホで熊の画像を提示し、2歳半から3歳の熊だと伝えられた。

此の出来事を、熊と真っ正面で近接遭遇した経験を持つ友人に話をすると、彼は自分の経験を詳しく話し始めた。彼はその日、虫除けスプレーを自分の嗅覚が麻痺する程、タツツリかけて、山菜採りに山へ入った。

千鷲会ゴルフ同好会は、本年度第4回例会を、7月13日(土)に「ちとせインターゴルフクラブ」

## ゴルフ同好会

新入会員 6月 鈴木 徹 (2空司令部)

## 7月6日付会員数

正会員	367名
賛助会員	
個人	16名
団体	17社

## 山登愛好会

山登愛好会は、7月13日(土)に今年度4回目の登山で、ニセコ積丹小樽海岸国定公園内の活火山イワオヌプリに、会員6名で登って来ました。



この度も千鷲会役員全員の協力で『千鷲会だより』を発行出来ました。紙面を埋めるのに苦労をしています。会員皆様の身近な出来事や、今だから語れる事等の投稿をお待ちしています。(広報部長 渥美伸悦)

## 編集後記

7月 宮崎 彦二(自由ヶ丘)

best-guy@snow.ocn.ne.jp 090-8895-5410